

2019年2月10日

教え子を再び戦場に送るな

第36号



全滋賀教職員組合

発行人 竹腰宏見  
 大津市朝日が丘1丁目11-3  
 教育文化会館  
 tel (077) 522-4965  
 fax (077) 522-4978

# 仲間を増やして、子どもと教育の未来を切り拓く

## 第4回定期大会を成功させよう

### 大会議案のポイント



今私たちが受けている権利や勤務条件は、組合のたかいたの歴史によって一つひとつ実現してきたものです。いい教師になりたい、子どもとじっくり向き合いたい、子育てしながらでも働き続けたい、という切実な思いを持った先輩たちの「自由獲得の努力の成果（憲法97条）」です。

#### 教育の目的の本質的变化に對峙する

「学力テスト対策でやりたい授業ができない」「小学校に英語教育が入ってきたら学校が混乱している」今教育現場では、こういう声が充満しています。ただホ

「学力テスト対策でやりたい授業ができない」「小学校に英語教育が入ってきたら学校が混乱している」今教育現場では、こういう声が充満しています。ただホ

一人ひとりの要求と組合の大切さ

「今年こそ臨時の年度末空白を廃止せよ」と、臨時教職員を含む多くの組合員が確定交渉に集まり、自らの思いと学校の実情を教育長にぶつけました。超勤縮減の私たちのとりくみによって、部活動のあり方を含む働き方改革の指針が、ほぼすべての市町教委から保護者に通知されました。多くの教職員が組合の存在の大切さを改めて実感しています。

一方、〇〇スタンダードや授業内容・授業方法の押しつけが始まり、学校は新たな事態に直面しています。この危険な流れを何とか変えなければと思いつつも、職場の空気に押しつぶされそうになり、ともすれば組合員でいることに自信を失いかけています。

こうした状況の中、何とか踏ん張って組合員であり続けること、そのことに大きな価値があります。さらに「職場を守りたい」「教育を守りたい」と願う分會が職場に存在すること、このことが未来への希望につながります。

組合の力の源は集まること、仲間を増やすこと

ただ、一人ひとりバラバラではいつ崩されるかわかりません。だからこそ集まること、集まって語り合い思いを共有することが何より重要です。「集まれば元気！語りあえば勇気！」です。これが組合の力の源です。認識が職場のみんなの声になれば力になります。組合員でいることに誇りを持ち、集うこと、声をあげること、仲間を増やすことが、子どもと教育の未来を切り拓きます。

#### 全滋賀教組第4回定期大会

日時 2月23日(土)10:00~17:00  
 会場 G-NETしが(男女共同参画センター)  
 たくさんの組合員みなさんの参加をお待ちしています。職場の状況を出し合い、仲間ととりくみに学びましょう。

# オスプレイは来るな！戦争準備の訓練は許せない！ 日米合同演習反対2・3あいは野大集会



高島市の陸上自衛隊あいは野演習場では2月4日から日米合同演習が始まりました(15日まで)。墜落事故などが頻発する危険なオスプレイも2基飛来し、米軍とともに戦争のための訓練を行っています。

あいは野では昨春秋、陸上自衛隊の実弾演習中に迫撃砲が演習場外に着弾し、乗用車を破損させる重大事故が起きたばかりです。

集会には350人が参加、怒りの声があつた

3日高島市市民会館で開かれた「日米合同演習反対2・3あいは野大集会」には県内外から約350人が参加しました。

集会では「県民の声を無視して演習を強行することは許せない」「清水庄次郎(労連副議長)」「オスプレイを導入した戦争準備のための訓練だ」「小泉親司(産党基地対策委員会)など、怒りの報告が続きました。そして、9条改憲や辺野古新基地建設を強行しようとする安倍内閣の退陣を求める宣言を採択しました。

リレートークで発言したた山下真寿美さん(北大津養護分会)は、「20数年前に高島に引越してきたとき、砲弾の爆発音に驚いた。障害を持つ子どもの中には音に過敏な子もいる。子どもたちの命と向き合う教員として、無法な演習は絶対許せない」と訴えました。

集会後、今津町内をデモ行進し、「人殺し訓練はやめよ」のコールをとりかれました。

#### 新しい風をもらって、またスタートできそう

半の新しいスタートです。中々来ませんでした。途中で自信がなくなりました。何か役を担いたが切れました。介護も仕事もどっちも端で、何か役を担いたが切れました。組合に入っていて本当によかった、と思う毎日です。

美しい歌声と「新春のつどい」で温かくスタート(女性部)

毎年恒例の女性部新春のつどい。今年は、新築3年目の桐原小学校の明るく美しい音楽室に34名の仲間が集いました。スタディタイムとお食事会、各分会からの出しもの交流、生け花のプレゼントと、盛りだくさんかつ心温まるひとときを過ごしました。

森野さんが盲学校卒業後、「せひ成人式で歌って！」と保育園の時の友だちに声をかけられ、いっしょに歌った「手紙」。子ども時代に出会える縁、子どもが持つ人とながる力に感動しました。

自立できるか不安いっぱいの中、高等部時代の気持ちを作詞した『大丈夫』。子どもたちの成長に関わっている私たちの仕事の尊さに改めて気づくことができました。

相手の井上さん(組合OB)が話された、「いっばい人に助けてもらいなから、反対に、だれかの役に立てるように生きていきたい」という言葉が心に残りました。コンサートの間じゅう、つながりの大切さを思い心が清らかになりました。いくつのように感じました。

#### ランチタイム交流会

お待ちかねのランチタイム。おいしいお弁当に、各分会からの出しもの。新旭養護学校の「音楽づくり」の出しものでは、「ほっ」と、「ほっ」と、「ほーっ」とや「パン」、「パン」、「パン」などの音をつなげ、みんな1つの曲にしました。参加者の日頃の思いや新年の抱負を聞き、分会仲間のつながりや組合女性部のパワーを感じる有意義な時間となりました。





# 1 憲法9条改悪を許さな いたために

安倍首相は「この国会で改憲案を提示する」と執拗に繰り返していますが、改憲勢力が国会議員の3分の2を優に超えているにもかかわらず、「安倍改憲No.3000万署名」を軸とした改憲反対の運動と世論の中、憲法審査会への自民党提案さえできていません。

- 憲法9条改悪阻止を、「教え子」を再び戦場に送る
- 辺野古新基地建設反対、平和で核兵器のない世界、安保条約廃棄、基地のない日本をめざす国民的共同のたたかいを推進します。
- 原発ゼロをめざす国民的なたたかいを前進させ、再稼働に反対します。
- 原発ゼロをめざす国民的なたたかいを前進させ、再稼働に反対します。

# 2 子どもの成長を保障し、「国民のための教育」を守るには

安倍政権は教育を子どもの成長・発達を保障するものから、国家目的のため、グローバル企業のための人材育成をめざすものにしてしま

うとしています。育成すべき資質・能力を国が示し、その目標達成のために、内容と方法、評価が一体のものとして強調されています。

# 3 教育への政治介入を許さず、教育の自由と教職員の政治的自由を守るには

発達段階に応じた主権者教育の豊かな実践をすすめることが重要です。ところが「政治的中立性」を口実に

した教育介入により、学校現場では時の権力の意向を忖度し、萎縮する傾向も広がっています。

# 4 30人学級の早期実現と教員定数の大幅増のために

本来慎むべきは戦前の軍国主義教育の反省から、国家や権力による教育の介入です。この間の攻撃は、権力に対して物言わぬ教員、従順な子どもを作り出すことをねらっています。それは同時に国民の思想・信条の自由、言論・表現の自由を侵害するものです。憲法、民主主義社会の根本原則が脅かされつつあるという認識を広く共有し、これを許さないたたかいが求められています。

- 子どもを主権者ととらえ、子どもの声を聴き取り、子どもの実態から出発した、子ども、父母、教職員、地域、共同の学校づくり、教育課程づくりをすすめます。
- 保護者・市民とつながり信頼関係をつくり、いじめや子育ての悩みや相談などを持ち寄り、誰でも参加できる場をつくる取り組みをすすめます。
- 教育研究活動を組合運動



できる学校にします。障害児学校の大規模化を放置させず、設置基準の策

定と新しい養護学校の建設を求めます。

# 5 労働条件の改善、くらしを守るには

すべての教職員の賃金改善、長時間過密労働解消、いのちと健康を守る課題など、切実な要求を実現する攻勢的なたたかいをすすめます。

2016年度から導入さ

れた人事評価制度が、実質的な成績主義賃金にならないよう取り組みます。教職員の長時間過密労働の根本的解決を掲げて取り組みます。労働安全衛生の取り組みを重視します。

# 6 職場活動・分会活動の活性化のために

「声をかける」「話を聞く」「集まる」「つながる」など、すべての教職員との対話と共同を重視し、切実な要求の実現と教職員の連帯をめざす職場活動をすすめる、それを土台に組織の飛躍的拡大をめざします。

## (1) 組合員一人ひとりを大切にした活動スタイルを

①全滋賀教組には「一人分会」「少数分会」がたくさんあります。私たちは組合員一人ひとりを大切にした活動スタイルを基本にしてたたかいをすすめます。「あなたを一人にしない」というメッセージを届けます。

②一つひとつの問題を「分会任せ」にせず、みんなで話し合える、わかり合える組合活動をすすめます。③校種ごとのとりくみの違いを大切にしながらも、校種を越えた交流、共同の取り組みを重ねます。

## (2) 組織を元気にする4つの取り組み

①校種を問わず新規採用者が増加し、職場に若い教職員が増えていきます。青年教職員への働きかけを強め、組合に組織し、青年の要求に応える組合活動を探索していくことが不可欠です。②ベテラン層が組合全体の牽引車の役割を担っています。若手のリーダーを育て、伴走し、次代を担う役員を作ることが必要です。③安倍政権の戦争する国づくり、財界大企業の利益に奉仕する人材づくりに対抗して、職場から運動を組織し、保護者、地域の人たちと共同して大きな力を作っていくことが求められています。

④上のような運動を組織していくために、小中の単組・地区、高教組のブロックという中間機関の活動強化が求められています。また各分会の一人ひとりにまで方針が届き、加入していき

## (3) 職場活動の活性化

①「集まることそのものがたたかい」と位置づけ、集まりつながることを重視し、とりくみをすすめる「集いあい促進費」を積極的に活用します。そのため「分会会議」の開催を特別に重視します。併せて共済運動を通じて教職員を守る「3つの運動」（教職員の生活、いのちと健康、身分を守る運動）を広げ、「あなたを一人にしない」、つながりと助け合いの輪を広げるとりくみをすすめます。

②分会活動の活性化が活動の基本です。配布物の徹底、組合掲示板や署名などさまざまな活動がすべての分会ですすめられるよう全力をあげます。③要求アンケートなど「見える職場活動」をすすめます。

## (4) 仲間を増やす取り組み

①全滋賀教組は、第2期3か年計画、組織の拡大強化の総達成をめざす運動を推進します。5月までを「春の集中月間」とし新採総当たりを柱にしつつ、年間拡大目標の50%達成をめざします。②私たちの側で対象を狭めず臨時含むすべての教職員を対象にした対話と組合・共済加入の呼びかけを広げます。

③青年教職員にくり返し声をかけ、青年の要求と結んだ組合活動を推進します。④ベテラン組合員が、青年の気持ちに寄り添い青年と時間を共有することで組織拡大に全力をあげます。⑤組合がおこなう助け合いの自主共済活動である全教共済の魅力を伝え、加入促進を飛躍させます。



● 臨時・非常勤教職員の正規教職員との均等待遇をめざす抜本的な処遇改善の取り組みをすすめます。● 貧困と格差を拡大し、労働者・国民に困難を押しつける新自由主義的「構造改革」を許さず、労働者の雇用とくらしを守るとりくみをすすめます。

以上が大会議案のポイントです。積極的な討議をお願いいたします。